

# 赤煉瓦通信 Vol.17

September 12, 2025

～ 一粒の麦から～

院長コラム

聖書の一節から

From the Bible



*Have salt in yourselves,  
and be at peace with one another.*

Mark 9:50 (New Revised Standard Version)

自分自身の内に塩を持ちなさい。  
そして、互いに平和に過ごさなさい。

マルコによる福音書 9章50節後半(新共同訳)



西南学院 院長  
いまい なおき  
今井 尚生

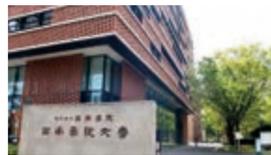
古来、塩は我々の食生活に欠かせないばかりか、人の健康にとっても大切なものとされてきました。今日、さまざまな調味料が手に入るようになりましたが、料理にとって最も基本的なものはやはり塩でしょう。食材を下ごしらえするのに塩は欠かせないばかりか、天ぷらなどは塩だけでいただくこともできます。また冷蔵技術のない時代、塩は食品の保存に欠かせず、塩漬けにすることによって食料の腐敗を防ぐことができました。

また、塩が健康にとっても大切なのは、身体には一定の割合で塩分が含まれており、これが体内のシステムの維持に必要不可欠だからです。さらに、塩が「清め」の意味を持つというのは、日本の文化でもなじみの考え方です。人の心は利己心やねたみ、傲慢によって絶えず腐敗を免れません。常に塩としての神の戒めの言葉を心に持つことによって、心を清く保ち、人との和らぎを保ちたいものです。

## School Organization Chart

### 1万人を超える学生、生徒、児童、園児が通う西南学院。

西南学院は、保育所・幼稚園から大学・大学院までを擁する全国でも数少ない総合学園です。保育所から大学院まで一貫した理念に基づいて、保育、教育を実施しています。 ※データは2025年7月現在



#### 西南学院大学

学生数:約8,400人

1949年開設。文科系・社会系の総合大学です。開学当時からキリスト教に基づく人格教育を実践してきました。また、1971年に他大学に先駆けて国際交流制度を導入し、外国語教育をはじめとする国際教育の充実・向上を図っています。長年にわたって培われてきた伝統は、社会的に高く評価されており、同窓生たちは、九州の経済界をはじめ、教育、マスコミ、法曹、福祉など多方面で活躍しています。



#### 西南学院中学校・高等学校

【高等学校】生徒数:約1,270人

全学年、毎日1限目から7限目まで7時間の授業が行われています(月曜のみ8時間)。多様化する大学入試にも対応できるように、習熟度や進度の違いに配慮して授業を実施しています。知識の習得はもちろん、物事の善し悪しを判断する知恵と「自分にしてほしいことを隣人に行う」という積極的な生き方を身に付け、それをいかに社会で生かしていくかを学びます。

【中学校】生徒数:約670人

一人ひとりが授かった能力や個性を最大限に伸ばすことができる教育を目指し、中高一貫教育を実施しています。6年間にわたるゆとりあるカリキュラムと恵まれた環境の中で、生徒たちが自ら考え、自発的に学ぶ姿勢を身に付けると同時に、聖書の学びやクラブ活動、国際交流、ボランティア活動等を通して、豊かな人格形成ができるように配慮した教育を実施しています。



#### 西南学院小学校

児童数:約430人

2010年に開校した、西南学院の中で最も新しい学校です。心身ともに成長著しい小学校の課程において、キリスト教の精神に基づいた教育理念のもとに「隣人愛を育む」「知恵を育む」ことを目標として、平和な未来を創る子どもたちの育成に努めています。環境に配慮して設計された校舎内のアトリウムは常にやわらかな光が注ぎ、約2万8千冊の蔵書を誇る図書館や、毎朝のチャペルを中心に、日々教育の質的向上が図られています。



#### 舞鶴幼稚園

園児数:約150人

福岡市内で最も歴史のあるキリスト教主義の幼稚園です。「心ゆたかであたらしいひかりのこ」を目指して、太陽と土と水と緑に触れながら感性豊かに育ち合う子どもたちを育成しています。一人ひとりの子どもの気持ちに寄り添うことができるよう、各クラスを複数担任で受け持っています。思いやりの心を培いながら、個性豊かに伸び伸びと生きていく力を育む保育を実施しています。



#### 早緑子供の園(保育所)

園児数:約100人

0歳児から5歳児までの園児が長時間生活する場として、家庭的な雰囲気ときめ細かな育児を心がけています。「神様に愛され守られて成長していく一人ひとりの子どもを大切に」というキリスト教を礎とした保育理念を柱に、子どもたちが神様の深い愛に包まれている安心感を持ちながら、生きる力の基礎となる心の土台を育んでほしいと願い、保育を進めています。

# Vol. 17

September 12, 2025

西南学院広報誌  
あか れん が  
**赤煉瓦通信**  
～ 一粒の麦から～  
2025年9月12日発行(年2回発行)  
学校法人西南学院 総合企画部 広報課  
〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92  
TEL.092-823-3248  
koho@seinan-gu.ac.jp

#### 【“一粒の麦”について】

「一粒の麦」は、イエス・キリストが言われた「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒の麦のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ」を語源としたものです。広い世界の中で、西南学院は「一粒の麦」であり、西南学院で学ぶ一人ひとりもまた「一粒の麦」と言えます。「一粒の麦」が持つ可能性を信じ、社会のために尽くしていくこそが創立者の思いであり、今もなお大切に受け継がれています。

## 西南学院

<https://www.seinan-gakuin.jp>

- 西南学院大学・大学院
- 西南学院中学校・高等学校
- 西南学院小学校
- 舞鶴幼稚園
- 早緑子供の園(保育所)



題字: 鈴木 結生さん

【特集】

# 西南学院と言葉

人と人が心を通わせたり、何かを学んだりする上で重要な「言葉」。

西南学院の教育現場でも

さまざまな方法で言葉について考え、学びを深めています。

今回の特集では芥川賞を受賞した

鈴木結生さんのインタビューからスタートし、

西南学院における言葉の力を高める取り組みについて紹介します。

## 文学の道を目指しはじめた自分に 言葉の力を感じさせてくれたのは聖書

— 聖書から受けた影響や印象的な言葉は？

父が牧師で、聖書は幼い頃から身近な存在でした。何度も読んだはずなのに開くたびに違う発見があり、驚かされます。人類が何千年かけて読んでもまだ読み尽くせない不思議な書物で、言葉の力について考えるときにまず頭に浮かぶ代表格だと思います。自分にとって最も印象深いのは「初めに言があった(ヨハネによる福音書1章1節)」というフレーズです。それまで聖書においては愛のメッセージが、また、文学においては面白い筋や物語が重要だと考えていましたが、聖書の中で多くの人が同じ言葉を自分の言葉として語り直していく姿に触れ、言葉そのものが魔法のように変化し、無限のバリエーションを持つことを知るきっかけになりました。

聖書は何度読んでも  
開くたびに  
違う発見がある

## 諦める覚悟で挑戦した文学賞が 小説家への道を開ききっかけに

— 芥川賞を受賞するまでの経緯は？

書くことは子どもの頃から好きで、高校生の頃から長編小説を書きはじめましたが、小説家を目指す気持ちが明確になったのは学生時代でした。卒業が近づき、就職活動や社会に出ることを考えた先で、自分を良く見せようとするために他人に嘘をつくことが避けられないことだと感じましたが、僕にはそれができなかった。思えば小説は虚構であり、小説家は嘘をつくことが仕事だともいえます。でも僕は嘘の中で本当を書きたいと思い、小説家を目指すことにしました。ただ、「小説家になるのであれば初めから傑作を書かなくては」と思い過ぎていたため、なかなか納得のいくものが書けないまま4年が過ぎました。大学4年次、文学賞に応募したのは「これで無理だったら文学研究の道に進もう」と諦めるためでもありました。しかし、初めて応募した作品が林芙美子文学賞の佳作に選ばれ、2作目で芥川賞を受賞し、小説家としての道が開けました。

小説家は嘘つきだが、  
嘘の中で、  
本当を書きたい



## 人生の不条理を救ってくれるのは言葉 多くの言葉を自分の一部として持ち歩く

— これまで言葉の力を強く感じた体験は？

日々、言葉の力に救われることばかりです。イギリスの詩人で劇作家のT・S・エリオットの「こんな切れっぱしでわたしはわたしの崩壊を支えてきた」という言葉の通り、言葉は時にものすごい力を持ちます。文学をはじめとして人生の中で触れてきたたくさんの言葉が自分の中に存在し、それぞれ特別な意味を持たなかった言葉が、ふとした瞬間や文脈の中で強大な力を持って自分に迫ってくる瞬間があります。

例えば「愛」という言葉は、2つの母音の組み合わせでしかなく、意味は辞書に載っていますが、実はよく分からない言葉でもあります。でも自分が誰かを愛するときに「完全に愛が理解できた」と感じる瞬間が訪れることがあります。けれど、「愛とは何か」と問われるとやはり難しい。言葉で言えないけれど、言葉でしか表現し得ない、言葉の持つ神秘性のようなものを感じます。

自分を崩壊させるような  
不条理から  
救い出してくれるのは言葉

## 西南学院の図書館で出会った言葉が 多くの読者の支えになれば願って

— 西南学院で出会った言葉の力は？

西南学院大学に入学して以降は毎日のように図書館に通い、世界文学に触れ、多くの発見がありました。小説は書く前の準備期間がいちばん楽しく、資料を読みながら「これができる」「これを書くべきなんだ」ということがどんどん分かっていくんです。それは間違いなく言葉によってもたらされ



多くの本との出会いが、創作活動の源に

ていて、いわば言葉が僕を使って完成しようとしているような感覚です。アルゼンチンの詩人・小説家のホルヘ・ルイス・ボルヘスが、イギリスの小説家・詩人であるジョゼフ・ラドヤード・キプリングから引用していた「作品が作者を救おうとする」という言葉がありますが、僕はまさに言葉や一節の力に動かされて小説を書き上げてきたように思います。そして、僕の小説はそうのように自分を救ってくれた言葉へのオマージュとして書いているところがあります。自分が支えられてきた名言や言葉をできるだけ散りばめ、読んでくれる人にとってもどこかで何かの支えになればと願っています。

## 読み終えても満足させない書物こそが師 読書の世界を広げる本を作り続けたい

— 芥川賞受賞後に改めて感じた言葉の力や驚いた体験などは？

本当にたくさんの方が読んでくれたので、作者が意図していなかったような感想を伝えてくれる読者もいて、小説を通じてコミュニケーションができたことはうれい体験でした。西新を歩いていると時々声を掛けられますが、先日は地下鉄で隣に座った中年の男性から「あなたの新聞記事を全部切り抜き、あなたの影響で毎日聖書を読んでいる」と言われ

ました。これには深く感動し、小説家になって良かったと心から思った出来事です。僕は読み終えて満足させてしまう本は、文学的に価値が薄いと感じているんです。対して、読んだ後に別の本を読みたいと思わせてくれた本は、自分にとって永遠の師となります。だから僕の小説を入りに、聖書やゲーテに触れる人が増えたということがとても喜ばしかったですね。

読み終えた後に  
また別の本を  
開きたくなるような  
ものを書きたい

## 言葉を簡単に紡げる時代だからこそ 言葉に迷う経験を大切にしてほしい

— 西南学院で学ぶ後輩の皆さんへのメッセージ

今はAIを使えばすぐに文章が出来上がり、SNSを通じてインスタントに発信することができ、言葉を発するハードルは昔に比べて格段に下がっています。スピード感をもって過ごす日常では、小説を書くときのように言葉を吟味すること

## 【特集】西南学院と言葉

### 言葉に迷う経験を大切にしてほしい

は難しいのかもしれませんが、言葉に迷う経験は大切にしてほしいと思います。言葉というのは道具や記号のようなもので、使わないとあまり意味を持たないものです。そして、日頃から深く考える習慣がなく言葉にこだわりを持っていないと、言葉のキャッチボールで会話を滑らせることはできますが、深まるものはなかなか生まれ得ません。良書や多くの文章に触れ、自分の引き出しに多くの言葉をしまっておいた者同士の対話は、合理的に情報を交換するだけではなく、刺激に

満ち、新しい考えが生まれるきっかけになります。大人になると、自分の使う言葉を蓄え、大きく変えていくことは容易ではないので、若いうちに尊敬できる人に会い、いろんな言葉を試して、人を傷つけたり傷つけられたりしながら言葉に向き合う姿勢を大切にしてください。その経験や姿勢が皆さんの人生や仕事にどれだけ直接的な実りや豊かさをもたらすかは分かりませんが、人生で不条理な出来事が起こったときに寄り添い、支えになってくれるかもしれません。

自分の中に蓄えた言葉は  
人生に寄り添い  
心の支えに



第172回芥川龍之介賞受賞作『ゲーテはすべてを言った』(朝日新聞出版) (写真左)。2025年6月6日には新作『携帯遺産』(朝日新聞出版)を上梓(写真右)



SPECIAL TOPIC

### 第172回芥川龍之介賞受賞記念講演会を開催

4月25日(金)、鈴木結生さんの第172回芥川龍之介賞受賞を記念して、「芥川賞を語る」をテーマに、1999年に同じく芥川賞を受賞した平野啓一郎さんと鈴木さんによるスペシャル対談が行われました。対談では、第172回芥川賞選考会の裏側や作家を志すようになったきっかけ、執筆する上で意識している点などについて語り合いました。本講演会には、約550名が参加し、講演会は盛会のうちに終了しました。



◀こちらから講演会の動画を視聴できます。読売新聞社のサイトに遷移します



西南学院大学大学院  
外国語学研究所修士課程2年

すずき ゆうい  
鈴木 結生 さん

本学大学4年次に『人にはどれほどの本があるか』で第10回林芙美子文学賞佳作を受賞。2025年に『ゲーテはすべてを言った』で第172回芥川龍之介賞を受賞。

# 西南学院における

# 言葉の力

# を育てる取り組み

【特集】西南学院と言葉

## 0歳児～未就学児

乳幼児期は、少しずつ言葉を覚えていく段階です。日々の生活や遊びの中で気持ちや欲求を言葉で表現し、周りの大人や友達と共有することで心がつながる体験を大事にしています。

### 早緑子供の園（保育所）

乳児期は言葉を上手に使いこなすことは難しい段階ですが、生活や遊びの中で感じた思いを小さくさまざまなし、態度で表現しようとして。保育士がそうした感情をできるだけ取り、言葉にします。日々のさまざまな場面で子どもたちの発語を促しながら、新しい言葉との出会いを支えます。そして、言葉を媒介として他者と心がつながる体験を大切にしたいと思っています。

### ことばあそび

何度も繰り返し歌ったり唱えたりして、遊びながら日本語のリズムやアクセント、言葉の面白さに触れます。



### お話づくり



一人または数名で知っている言葉を紡いで登場人物やストーリーを考え、保育士と共に心が動く体験をするなど、子どもたちの創造性を育てます。

### 保育士が語る 素話や詩を聞く

保育士による素話や詩で擬音語・擬態語の繰り返しやユーモラスな言い回しに触れることが、言葉の響きや音に関心を持つきっかけになります。



### 舞鶴幼稚園

絵本の読み聞かせや劇ごっこを通して、子どもたちは言葉や物語の楽しさや面白さに気がきます。最初は一人で自分なりにお話を楽しみ、年齢が上がるにつれて近くにいる友達とイメージを共有し、言葉を通じた関わりを楽しみます。人と関わる中で、言葉の大切さや必要性を感じ、言語を習得したいという意欲が高まると考えています。

### 劇ごっこ

絵本を読み、自分たちで役になりきってお話の世界を楽しむ活動です。キャラクターの気持ちをイメージして動いてみたりセリフを言ってみたりします。



### 絵本の読み聞かせ

毎日帰る前は、絵本を聞く時間です。子どもたちはみんな絵本が大好きで、お話の世界に引き込まれます。言葉の音の面白さに気付き、口に出してまねる様子も見られます。



## 小学生

小学生は自分の気持ちを言葉で伝え、感謝のメッセージやプレゼンテーションを通して、相手に届けることを意識します。言葉を介して友達や社会とつながり、平和を創り出すことを目指します。

### 西南学院小学校

小学校では「隣人愛」と「知恵を育む」という教育目標のもと、聖書の言葉を土台とし、全ての学びや日常を通して豊かな心を育てます。単に言葉をやり取りするだけでなく、根拠に基づいた考えを伝え合い、相手の気持ちに配慮しながら交流を深め、友達や家族、社会とのつながりから平和を創り出すことを目指し、教育に取り組んでいます。

### 花の日チャペル

日頃お世話になっている警備や給食・清掃に従事する方々、登下校で利用する駅や交番、スーパーの皆さんに感謝のカードを届けます。「ありがとう」の気持ちを言葉にして伝え、感謝の心を育む機会になっています。



花の豊かな季節に礼拝を行い、小さな花や自分たちに命を与えてくださる神様への感謝の気持ちを育みます

### ブレインオリンピック

予選・決勝と2日間にわたって容易に解けない算数の問題に取り組み、解き方と答えをプレゼン。説得力のある説明ができたグループが勝ちとなります。一人ひとりに得手不得手があることを認め合い、互いに補い合うことも学びます。



## 中高生

中高生は、聖書の言葉をメッセージとして受け取り、感じたことなどを友達と対話します。また、テーマに沿った弁論や手話など、多様なコミュニケーションを学び、言葉の影響力や意味についても熟考していきます。

### 西南学院中学校・高等学校

言葉は人を支えることも深く傷つけることもできる道具です。どんな人でもメッセージを発信できる世の中だからこそ、言葉が持つ影響力と意味について深く考え、受け取る側に思いをはせながら言葉を紡ぐことを大切にしよう指導しています。生きる希望となる言葉と出会うまでに、拒絶される経験もするかもしれませんが、臆することなく言葉を受け、学び、届ける者であってほしいです。

### 国語教育× 聖書の読み解き

#### 中高共通

毎月チャペルに掲げる月ごとの聖句があります。現代の事象とひも付く聖書の内容についても考え、チャペルノートに感想を書きます。クラスメイトと意見を交わし合うことで、人と異なる考えを言葉にする抵抗感を和らげ、自分の考えを表現する力を養います。



### 人権・「同和」教育における 「聴覚支援学校との交流」 手話の学び

#### 中学校

聴覚支援学校の生徒の皆さんと交流する中でさまざまなコミュニケーションについて学びます。



### 弁論大会

#### 高等学校

文化祭の時に弁論大会を開催。このイベントは数十年継続して行われていて、生徒たちにとってさまざまな課題を深く考える良い機会になります。



## 大学生

社会に出ることを想定し、国籍や文化的背景が異なる人ともコミュニケーションを重ね、自らの頭で考え、言葉への豊かな感性を磨く機会を大切にしています。言葉が人間や社会に及ぼす影響を念頭に置きながら言葉の力を磨いていきます。

### 西南学院大学

聖書を読むとき、私たちは沈黙のうちに文字と向き合い、そこに宿る声に耳を傾けます。時代を超えて伝えられる言葉が人間の内面や社会に及ぼす力について考え、言葉への豊かな感性を養う機会を大切にします。現代では言葉は多くの人に拡散され、影響力を持ちますが、真実を語るたった一人の声が大きな力を発揮することもあるという側面にも目を向けていきます。

### 「ことばの力養成講座」

法学部国際関係法学科・田村元彦准教授が企画する本講座は、実際の書き手や作り手と、学生が接点を持つ機会を提供することを目的としています。新聞社と共催して記者や作家を招く講座をはじめ、映画監督や本学出身の芥川賞・直木賞作家をゲストに迎える会などを実施してきました。本講座の受講生は本講座を通じて、他者との対話を重ねながら、「社会に届く言葉」や「伝える責任」に触れる貴重な機会を得ており、これまでに受講生の多くがジャーナリストとしてマスコミ業界で活躍しています。



7月24日(木)、「ことばの力養成講座」鈴木結生さん芥川賞受賞記念企画第三弾で、群像新人文学賞を受賞した豊永浩平さんとの対談を実施しました

### 「Culture of Integrity」 プログラム

法学部国際関係法学科・高柴優貴子教授ゼミ主催の、言葉の力を

磨き、国際社会で自分を生かすための「Integrity(ぶれない高潔さ・芯があること)への理解を深めるプログラム。英語を共通言語に、国際社会の第一線で活躍する実践者との対話を通じて、自ら考え、心に起こった変化を言語化する力を育みます。対話の言葉を欠き、力による支配が優先される現代においては、一人ひとりが国際法を理解し、文脈を理解しながら主体的に判断することが不可欠。本プログラムでは、本当に助けを必要とする人々の声を受け止め、最善を尽くす姿勢の獲得を目指します。



プログラム第5弾「ガザは人類の危機なのか?〜「良心の産物」を築こう」ゼミ生が企画を主導し、パレスチナ・ガザの現状を伝えるとともに、非人道的状況が長く続く世界をどうすれば変えていけるのか、良心に問いかけ、今後の意識と行動変容を促す機会となりました

#### POINT

### 言葉の力、その二面性

「言葉に力がある」とは、裏を返せば「言葉は暴力にもなり得る」ということです。言葉は武力に対して無力と思われがちですが、実は大きな力を持ちます。大学ではさまざまな場面を通じて、適切な言葉を通じたタイミングで発することを学んでいきます。例えば「雨が降っているよ」という発話は、単なる事実の描写なのか「傘を持って行け」という命令の意味を帯びているのか、言葉が力を持つための条件に目を向けることも大切です。

きたがき とおる  
西南学院大学 副学長(教育・研究担当) 北垣 徹

磨く

対話する

覚える

伝える



## 西南学院History

【第10回／E.B.ドージャー】

100年以上の歴史を誇る西南学院には、後世に伝えるべき歴史やストーリーがたくさんあります。このコーナーでは西南学院にまつわる歴史を紹介していきます。



高橋剛毅著 『神と人とに誠と愛を E.B.ドージャー先生の生涯とその功績』 (第2版、2023年刊)

父の志を継ぎ、時代を超えて。



1968年ごろ 西南学院長当時のエドウィン

そのほか、1913年にウーン夫人と子どもたちと共に井上医師宅に招かれた時に撮影された、興味深い写真も残されています(写真1)。奥に床の間のある日本家屋の座敷に、井上医師一家だけでなく、招かれたドージャー夫妻、ウーン夫人、そして子どもたちも畳敷きの和室に座り、食卓を囲んでいます。手前に縁側が見え、撮影者がやや見上げるような角度になっており、おそらく庭側から撮影されたと考えられます。また、白いテーブルクロスがかけられた座卓上に食器が並べられていることから、食事を共にしたのでしょう。井上医師の手にはうちわがあり、子どもたちが薄手の服を身に着けているため、暑い時期だったようです。ドージャー夫妻は熱心に日本の風俗や習慣、言葉を学んだと伝えられていますが、そうした姿勢の一面を垣間見ることができ一枚だといえます。

当時、英語で教育を行う学校がなかったため、中学校までエドウィンもヘレンも母・モードから家庭で教育を受けました。その後、神戸にあるカナディアン・アカデミーの高等学校を卒業した後、彼らはアメリカに帰国して大学に進学します。このカナディアン・アカデミーは1913年にカナダ人宣教師が設立したミッション・スクールで、現存していませんが、西南学院と同様にヴォーリズが設計した校舎や寄宿舎がありました。

エドウィンは大学卒業後、ザサンバプテスト神学校で学び、1932年に宣教師として日本に派遣されました。日本で宣教活動に従事することは、実際のところ、大学進学以前に決心していたといわれます。事実、エドウィン自身の写真アルバムには、1924年の感謝祭の休眼中に家族で福岡郊外の山に登った際、目にした自然の風景に胸を打たれ、神社の巡礼者が熱心に祈る様子を見かけて考えたことが書かれています。そして、その記述は、日本で宣教師として働くという決

意で結ばれています。

E.B.ドージャーを直接知る人々によれば、彼は非常に日本語が堪能でした。また、戦後、宣教師として日本に派遣されたカーティス・アキュー宣教師やトム・正木宣教師は、宣教活動が独善的な押し付けに陥ることを戒め、共に教会を作っていく関係を持つことが大事だとエドウィンから助言を受けたと語っています。

エドウィンは両親の宣教活動に伴って、日本で生まれ育ちましたが、日本での宣教活動はあくまで自らの決心によるものでした。共に活動した若い宣教師たちへの助言は、彼自身の信念と実践に裏打ちされており、宣教団と日本バプテスト連盟、そしてアメリカと日本の文化の「架け橋」の役割を果たしたという評価につながりました。

### 「神と人とに誠と愛を」

西南学院35周年創立記念誌で父C.K.ドージャーの述べた「忠実であること」について語る際、エドウィンは『ピリビ書』(『フィリピの信徒への手紙』)の第3章12～14節を引用しています。そこには『ピリビ書』を書いたとされるパウロの信仰への一心さが語られています(写真2)。

そこで、父が残した建学の精神を自分の時代の言葉で「言い換えた」という「神と人とに誠と愛を」というメッセージを見てみると、確かに彼の経験や宣教師としての考え方、行動が反映されたものであることが分かります。



1913年 ドージャー家 左から:エドウィン、C.K.ドージャー、ヘレン、モード



1922年 新築された院長宅の前での家族写真 後列右から:C.K.ドージャー、モード、アデリア(モードの母) 前列右から:エドウィン、ヘレン



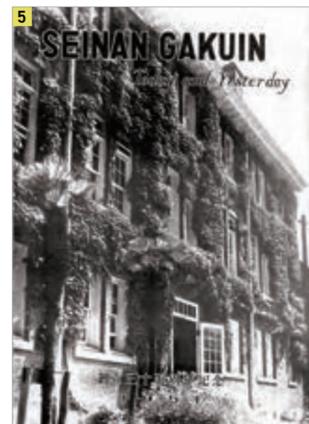
1922年 新築当初の院長宅(ドージャーハウス)



1909年 幼いエドウィンを背負うC.K.ドージャー



1913年 井上医師の自宅に招かれて 右2番目から:ヘレンを膝に抱いたC.K.ドージャー、エドウィン、ウーン夫人、ウーン家の子どもたち



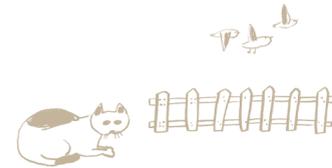
1951年7月7日35周年記念誌 "SEINAN GAKUIN Today and Yesterday"



1970年5月9日「故E.B.ドージャー師記念会」没後1年に行った記念会のプログラム

# 卒業生を訪ねて

西南学院で学び、さまざまな場所や分野で個性を輝かせている卒業生の皆さんに、今のお仕事の話や在学中の思い出を語っていただきます。



## 力強く伸びた松の木があの頃を思い出させてくれる

三井住友海上あいおい生命保険株式会社 代表取締役社長  
かじ しろう 加治 資朗さん 西南学院大学 経済学部経済学科 1983年卒業

1960年生まれ。1983年に大正海上火災保険(現在の三井住友海上火災保険株式会社)に入社。2016年、三井住友海上あいおい生命保険株式会社取締役専務執行役員を経て、2021年4月より現職。



自由でおしゃれな校風に憧れ、西南学院大学への進学を決めました。念願の一人暮らしをはじめため、大学生協で電化製品一式をそろえたことを覚えています。当時住んでいた部屋は狭く、トイレは共同で、祖原にある銭湯まで歩いて通ったのも良い思い出です。キリスト教は難しく感じる部分もありましたが、クリスマスの日のチャペルは格別で今思い出しても感動がよみがえってきます。先生方は勉強を強いることなく、学生の興味を引き出してくれました。大学3年の秋からは金融業界を目指し、毎日就職課を訪ねては先輩が書き残してくれた就職活動体験記を熱心に読む日々でした。第一志望だった「大正海上火災保険株式会社(現・三井住友海上火災保険株式会社)」に内定をもらったのは、就職課の方が熱心に私と向き合い、惜しみないアドバイスをくれたおかげだと感謝しています。大学時代に感じた、学ぶ楽しさと大切さが胸に刻まれ、今につながっています。

年にグループ内の生命保険事業に移り、経営に携わることとなりました。

損害保険は主に事故や災害などによる経済的損失を補償する事業であり、生命保険は人の生命に関わる保障事業で、お客さまの人生に長く寄り添う仕事です。

同じ保険ではありますが生命保険経営は未知の領域であり一から勉強する必要がありましたが、同時に大きなやりがいも感じました。そして2021年に社長のバトンを受け継ぎ、日本が抱える社会課題の解決に貢献していこうと決意しました。2024年の春に要介護1から保障する介護・認知症の専用商品を開発し、同時に認知症予防やがんの早期発見につながるサービス「MSAケア」をリリースするなど「人の役に立ちたい」という思いを軸に取り組んできました。

卒業から40余年、毎年帰郷した際には、西南学院大学で出会った妻と一緒にキャンパスを散歩しています。校舎や図書館は変わりましたが、松の木の間に抜ける爽やかな風はあの頃のまます。懐かしさと同時に、初心を思い出させてくれる大切な場所です。西南学院で学ぶ皆さんには、よく学び、よく遊んでほしいと願います。学びと友人は宝です。また、英語とITスキルは社会で働く上で非常に重要ですから、できれば学生時代に海外留学にも挑戦してほしい。私は大学時代に父が留学を勧めましたが、遠慮してしまいました。しかし、後にニューヨークへの赴任が決まり、英語で苦労したこともあり、学生時代に行っておけばよかったと痛感しました。若いうちに見聞を広め、さまざまな人と交流することで磨かれるものが多くあるはず。応援しています。



1989年、アメリカ駐在時代。下の写真はトランプタワーの前で



2024年 NPO法人ウィング・ジャパンとの包括連携協定締結式 西南学院大学卒業の上田 あい子代表とコミュニティーセンターで



今回のテーマは「DX/ICT」

## 学びの現場から

西南学院の大学・各学校・園・保育所では、学生、生徒、児童、園児の成長のために教職員が一丸となり、より良い教育を目指して日々さまざまな取り組みを行っています。

### コロナ禍がきっかけで教育現場のDX化が大きく進んだ

—**富永** 私は、2019年度から2023年度まで、ICT教育委員長として中高全体のICT教育の整備を進めてきました。今ではiPadが学習に必要なツールとして当たり前ものになり、校内Wi-Fiも整備され、会議資料も全てペーパーレスです。コロナ禍を契機に生徒を取り巻くICT環境は大きく変わったと感じています。大学はいかがでしたか。

—**井手** 大学では、以前からオンライン学習プラットフォームの「Moodle」を導入するなど、ネットワークのインフラは整備できていました。しかし、実際はあまり使われていなかったんです。それが、コロナ禍をきっかけに急速に進みましたね。現在授業はほぼ対面に戻っていますが、オンラインであれば他大学の先生をゲストに招きやすいなど利点を生かしています。また、講義資料の提示や課題提出の面では「Moodle」が浸透したので、今後も効率的かつ効果的な教育を行える環境が整ったと思います。

—**富永** コロナ禍は大変でしたが、ICT教育が大きく進むきっかけになりましたね。  
—**井手** ええ。近年は、文科省がデータサイエンス教育に力を入れていることも大きいと思います。文系の西南学院大学でも2023年度に全学必修の「データリテラシー」や「データサイエンス基礎(データ分析)」「データサイエンス基礎(AI活用)」「データサイエンス実践」の4科目を立ち上げました。実践科目では、デロイト トーマツ グループのデータサイエンティストに



西南学院大学 人間科学部社会福祉学科 准教授 データサイエンス教育主任  
井手 順子

西南学院中学校・高等学校 進路指導部長 数学科教諭  
とみなが しんご  
富永 真悟

よる課題解決型の授業を行っています。さらに、本年度は「データサイエンス副専攻プログラム」もはじまりました。数学やデータって実は暮らしの中で身近なものだと感じられるプログラムです。社会の変化に合わせて、教育内容も大きく進化していくときですね。

—**富永** 中高でもICT教育が整ったことであらゆる場面で良い変化が見られています。例えば、個々のiPadでスライド資料を作る機会が増え、生徒たちのプレゼン力や主体的に学ぶ姿勢には向上が見られます。保護者との連絡や出欠もシステムで管理できるようになり、良い方向に変わっています。



可視化したデータから仮説を検証する大学の実践的な授業

### 進化する技術を使いこなすには「人間らしさ」が重要

—**富永** ただ、ICTやDXは便利な反面、使い方を誤ると人を傷つける道具になりかねません。だからこそ、教員がルールやモラルを

丁寧に指導することが大切だと思います。また、デジタルツールに全てを委ねるのではなく、自分の意見を常に持つておくことの重要性もしっかりと伝えていきたいですね。  
—**井手** 同感です。AIがすぐに答えを出してくれる時代になった影響か「調べる前に聞く」学生が増えている印象です。しかし、成人したら自分の行動に責任を持たなければなりません。契約書などに目を通し、自分で考えて物事を進めなければ大きなトラブルに巻き込まれる可能性も高まります。AIなどの最新技術は積極的に取り入れつつ、最終的な解は自分の考えと一致しているか確認し、責任を持つ必要があります。

—**富永** 「考えること」がどれだけ大切かは、今後も伝え続けたいですね。本校ではグループ活動や協働作業が増えたので、他人を傷つけない活用法の指導を通し、他者理解を深めていきたいとも考えています。  
—**井手** そうですね。AI時代における人間らしさや信じるということといったテーマについて考えを深める機会は大切ですね。大学のデータサイエンス副専攻プログラムの科目「データサイエンス応用(データと社会)」は、全学部の教員がオムニバスで担当しています。商学部や経済学部での利活用はもとより、文学や心理、芸術とデータとの関わり、著作権など法的な問題についても触れています。特徴的な内容として、神学部からは「人間であること」を追求する時間も設けています。ICTやDXの恩恵を享受するためには、法律や倫理などを踏まえ、それと同時に人としての基盤をどう育てていくかが、今後の教育現場の課題ですね。



タブレットを利用し、グループで同じデータを編集するなど協力して行う活動も盛んに

# SEINAN GAKUIN information

## ～西南学院からのお知らせ～

### 学校法人西南学院 理事長の再任について

このたび、学校法人西南学院理事長を再任いたしましたので、以下の通りお知らせいたします。

◎学校法人西南学院理事長(再任)  
宮崎 隆一  
任期:2025年5月29日  
定時評議員会終結の時～  
2029年6月  
定時評議員会終結の時(4年)



昨年度の様子

### 「西南学院史資料センター」 2025年度企画展 「西南学院の象徴、再び」

本企画展では、西南学院を象徴する、校歌や校章、スクールカラーなど、建学の精神の思いが込められたシンボルなどについて取り上げ、関連する貴重な資料を展示しています。また、建学の精神を標榜してきた歴史や、宣教師などの人物を紹介します。

会 場:西南学院百年館(松緑館)  
1F企画展示室  
会 期:2025年3月3日(月)～  
12月19日(金)  
時 間:9:00～17:00(入場は16:30まで)  
休館日:日曜日  
入館料:無料  
主 催:西南学院史  
資料センター



※詳細は、ホームページをご覧ください。  
【お問い合わせ】  
西南学院 総合企画部 社会連携課 校友係  
TEL:092-823-3952  
E-mail:koyu@seinan-gu.ac.jp

### メールマガジン 「西南学院Letter」に ご登録ください!

メルマガ『西南学院Letter』は、西南学院のNEWSやイベント情報などをおよそ月に2回の頻度でお届けいたします。



※携帯電話のメールアドレスをご登録の場合は、ドメイン名「seinan-gu.ac.jp」からのメールを受信可能な状態に設定をお願いいたします。

### 公式SNSをフォローして “今”を知ろう!

西南学院大学・各学校・園の公式SNSです。ぜひフォローをお願いいたします。皆さまからのいいね!をお待ちしています。

#### 大学



#### 中学校・高等学校



#### 小学校



#### 舞鶴幼稚園

広報誌送付先変更の際は、  
専用フォームもしくは  
社会連携課  
(TEL:092-823-3952)へ  
ご連絡ください。



# SEINAN TOPICS

大学・各学校・園・保育所の近況

<h3>早緑子供の園(保育所)</h3> <p>毎週、週のはじまりは クラスみんなで礼拝を守ります</p> <p>幼児クラス(3～5歳児混合)の園児は、毎週月曜日の礼拝で保育士による聖話に耳を傾け、その月の聖句の意味をみんな考えています。礼拝やお祈りの時間を通して神様を身近に感じ、自分が神様に愛され守られている大切な存在であることを知り、見えないものに気付き大切に思う気持ちや、他者への感謝、思いやりの心を育んでほしいと願います。</p> <p>相横裕一園長と共に、神様にお祈り</p>	<h3>舞鶴幼稚園</h3> <p>みんなで川遊び! 冷たくて気持ちいい!</p> <p>6月20日、年長児(ひかり組)が久山町の猪野川へ川遊びに行きました。年中の頃からワクワクする手紙を届けてくれる「ゆうじろう」から「暑い時にびったりな楽しいところがあるから遊びにおいで!」と手紙が届き、みんなで行くことに♪「川の水って冷たいね!」と大興奮しながら、自然の中で全身を使って遊び、楽しい時間を過ごしました。</p> <p>みんなでわいわい川遊び!</p>	<h3>西南学院小学校</h3> <p>西南学院大学留学生との 交流授業を実施</p> <p>6月中旬～7月初旬、5・6年生と西南学院大学の留学生との交流授業を行いました。日本語や英語、表情、ジェスチャーなど多様なコミュニケーション方法で楽しい時間を過ごしました。児童にとって相手を「理解しようとする姿勢」を学び、実践する貴重な機会となりました。留学生にとっても、楽しい思い出になっていれどと願います。</p> <p>交流授業の様子</p>
--	---	--

<h3>西南学院中学校・高等学校</h3> <p>中学生がオーストラリア・イギリスでの ホームステイ研修に参加しました</p> <p>昨年度の夏季休暇のオーストラリアホームステイ研修に加え、今年の春季休暇中の3月後半に希望者を対象としたイギリスでのホームステイ研修が実施されました。カーディフという街でのホームステイや、現地の学校での同年代の生徒たちとの交流、オックスフォード観光やロンドンでのテムズ川クルーズなど、充実した研修となりました。</p> <p>歴史ある多くの建物に生徒の目が輝いていました</p>	<h3>西南学院大学</h3> <p>多彩な海外研修で期待される 高校生の挑戦と成長</p> <p>新型コロナウイルス移行以後、多くの生徒が海外研修への意欲を高めています。訪豪研修に加え、冬季休暇には東南アジア研修、昨年度はベトナムで実施、今年度はカンボジアで実施予定です。さらに昨年度、NASAに勤務する卒業生のラボ見学を含むアメリカ研修ツアーも実施されました。各研修で刺激を受けた生徒たちのさらなる成長が期待されます。</p> <p>卒業生の岩下友美さん(1998年卒業・写真左奥)が後輩たちを案内!</p>
---	--

### 第74回全日本大学野球選手権大会

#### 本学史上初! 硬式野球部がベスト8進出

硬式野球部は2年ぶり8回目の全日本大学野球選手権大会に出場し、1回戦で聖カタリナ大に勝利しました。実に69年ぶりに初戦を突破し、2回戦も勝利を収め、本学史上初のベスト8進出を果たしました。準々決勝では、惜しくも強豪・東北福祉大学との対戦に敗れましたが、大会での戦いぶりが評価され、チームとして「特別賞」を受賞しました。

第74回全日本大学野球選手権大会

## 西南学院大学サポーターズ募金ご協力をお願い

2018年4月から開始した西南学院大学サポーターズ募金では、寄付者のご意向に沿った目的に使用するために使途をお選びいただけます。皆さまのお気持ちが本学のさまざまな活動の大きな支えになりますので、ご協力を願っています。 ※この寄付金については、所得税および法人税による減免税の措置を受けることができます。

- 選べる使途の種類 | 1 | 大学給付奨学金 | 2 | 教育・研究活動支援 | 3 | スポーツ・文化活動支援 | 4 | グローバル人材育成支援 | 5 | ボランティア活動支援

### 寄付者銘板のご紹介

ご寄付をいただいた個人様、団体様、法人様のご芳名を刻銘した銘板を、西南学院百年館(松緑館)の1階に設置し、末永く顕彰いたします。

#### 銘板掲載対象

- 【個人】5万円以上
  - 【団体】10万円以上
  - 【法人】50万円以上
- の寄付をいただいた方



### 西南学院大学サポーターズ募金 お問い合わせ先

西南学院 総合企画部 社会連携課 校友係  
TEL:092-823-3952 FAX:092-823-3172  
E-mail:koyu@seinan-gu.ac.jp  
西南学院大学サポーターズ募金  
ホームページはこちら▶▶▶



「スポーツ・文化活動支援」へのご寄付を物品購入等に活用させていただきました。  
ご寄付いただきました方々に改めてお礼申し上げます。

#### ヨット部



船のスピン購入費として活用させていただきました。

#### 卓球部



チームの公式ジャージ作成費として活用させていただきました。

#### 管弦楽団



フルーツ購入費用および定期演奏会にかかる費用として活用させていただきました。

#### サッカー部



ユニフォームおよびソックス購入にかかる費用に活用させていただきました。

## 私と西南学院

このコーナーでは毎月テーマを設け、卒業生の皆さんから西南学院での思い出を寄せていただき、ご紹介します。

theme▼  
西南学院で思い出に残っている  
給食もしくは学食のメニュー

### 生協で売っていた 三角コーヒー牛乳とサンドイッチ

休み時間に、友人と雑談しながら食べた節約メニューの一つでした。大学から天神までの往復の電車賃が50円くらいの時代でした。(西南学院大学1974年卒業)



### 「エスポワール」の スコッチエッグ

キリスト教フォーカス・ウィークのある日、11時の休み時間に少し早めのランチを。お腹が空いている時に食べたスコッチエッグは、本当においしかったです。(西南学院大学1996年卒業)



▲西南会館にあった軽食堂「エスポワール」

こちらよりご回答  
お待ちしております



■次回春号に向けて「今も大切にしている、先生からの言葉」を募集!(募集締切:2025年11月30日(日))▶